

現地事情に即した最適なプロジェクトフォーメーションの構築

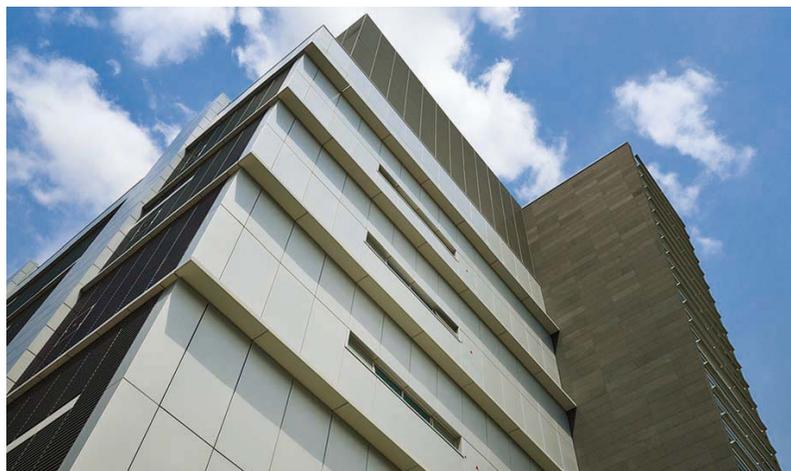
ワンストップ保守のグローバル展開を具現化する 循環型バリューチェーンを活かした統合ファシリティサービス

NTTコミュニケーションズがシンガポールのセラングーンにおいて2012年4月に提供開始した「シンガポール セラングーン データセンター」。NTTファシリティーズは、設計から工事段階でのプロジェクトマネジメントに加え、竣工後は、建物と設備の運用・保守にも取り組んでいます。

グローバル品質を統合した 次世代データセンターの実現

シンガポール セラングーン データセンターは、NTTコミュニケーションズがグローバル展開するクラウドサービスの主要基盤の1つとして建設した最新のデータセンターです。

地下1階、地上5階、総床面積15,000m²の高信頼のデータセンター専用ビルであり、自社の大容量光海底ケーブルを利用することで、業界トップクラスの低遅延で日本～シンガポール間接続を実現しています。



シンガポール セラングーン データセンター外観

最先端のグリーン性能も有しており、シンガポール建設局が認定する、建築物の環境配慮に対する評価制度「グリーンマーク」で、最高ランクの「プラチナ」をシンガポールの商用データセンターとして初めて取得しています。また、全米グリーンビルディング評議会 (USGBC) による格付制度の「LEED」の「ゴールド」も併せて取得しています。

NTTファシリティーズは、同データセンターの設計から工事段階でのプロジェクトマネジメントに加え、竣工後は、当社として海外初となる建物と設備の運用・保守にも取り組んでおり、グローバル品質を統合した次世代データセンターの実現に寄与しています。

循環型バリューチェーンを活かした 統合ファシリティサービスの提供

データセンターでは、24時間365日、止まることが許されないミッションクリティカルなシステム稼働が要求されます。建物、電源システム、空調システム、セキュリティなどをトータルにオペレーションすることは、データセンターの信頼性を高めるための不可欠な条件となっています。

このシンガポール セラングーン データセンターでは、オープニング当初から当社に運用・保守を任せて頂いているため、設計から運用・保守にいたるまでの最適なプロジェクトフォーメーションが構築できており、循環型バリューチェーンを活かした統合ファシリティサービスを提供しています。

グループシナジーを活かした ワンストップ保守の提供

運用・保守については、今年の5月から当社のグループ会社であり、シンガポールにおけるデータセンターの運用・保守で多数の実績を持つプロマトリックス社へ業務を移行し、日本人スタッフがサポートしながら、現地で採用したファシリティマネジャーと常駐エンジニアによるオペレーションを行っています。

このように、日本人スタッフと現地のプロマトリックス社とのシナジーを発揮することにより、グローバル品質でワンストップ保守を提供しています。常駐エンジニアによる巡回設備点検はもち

ろんのこと、アラーム発生時には、現場に駆けつけて故障に対応するほか、各種報告書の作成、入居しているお客様に対する営業のサポートや監査へのフォローアップなど、多様な業務にワンストップで応えています。

最適なチームの構成と運用・保守の 100%現地スタッフ化に向けて

現在、設備数もエンジニア数も業務開始当初の2倍以上に増えています。データセンターの高品質で効率的な運用・保守を実現していくうえで、チーム全体でどのように立ち向かうか、役割分担を含めてより最適なチームを構成していくことが、今後の課題です。

将来的には、運用・保守の100%現地スタッフ化を目指しています。現在は日本人スタッフのノウハウを継承することに注力し、ファシリティマネジャーをはじめ、常駐エンジニアの人材育成、ならびに日々の業務改善に取り組んでいます。⑩



プロマトリックス社 セラングーン データセンター 運用・保守チーム